

# 碩心

## 指導者の心得について

会長 加藤 岳洵

当碩心会は現在、準師範以上の指導者は56名で会員数の約2割を占めている状況です。

毎月指導者講習会を実施していますが、残念ながら出席率は6割程度に留まっています。

この講習会の目的の一つには、自らの吟技の向上を目指し、もって各教室会員の指導に当たり、碩心会全体のレベルアップを図ることにあります。このためこれからは出席率を高めるための方策を考えなければならないと思っております。

一方指導者の皆さんには、改めて岳風会の指導指針を認識し、普段の指導の中で実行して精神面での向上にも努めるようお願いしたいものです。次に岳風会「指導要項」を抜粋要約しましたので、是非心がけて戴きたいと思えます。

一、自ら指導者たる品格を備え、礼と節を重んじ、常に率先垂範の模範となるよう努

題字は松井岳洋筆

No.362

平成15年11月

発行

(社)日本詩吟学院岳風会 認可  
神奈川 碩心会

発行者 加藤岳洵  
編集者 磯村岳朋

神奈川県葉山町堀内206  
Tel/Fax.046-875-3723

める。

礼とは、尊敬と感謝の念を抱いたときの行動、言葉であり、その念いである。

節とは、礼の折り目であり、指導に当たって先輩の言行を尊重し、己の信ずるところに従う。また後輩といえども人生経験や社会的立場においての先輩も多いたとを銘記すべきである。

二、常に流統の原点を重んじ、基本並びに詩歌等の研究に努める。

流統の原点とは、祖宗範木村岳風先生が全国行脚され、その吟法を創造されるに当たって大理想の根本とされた点です。岳風会の吟法上の流統とは、だれにでも吟じられ、かつ俗に流れず媚に偏しない素朴な心の吟にして、詩の心を吟ずるもので節を吟ずるにあらず。

三、会員に対して、常に公正無私の立場を堅持し、豊かな環境づくりに努め、相互の協力をはかり岳風会の発展に寄与する。

以上、この指導指針を頭の片隅に入れて指導に当たって頂ければ幸いです。

昇伝認可 (平成15年10月1日付)

(少年八級一名)

366 広瀬優作

(初段 五名)

407 大塚 洋

404 簡野高道

(二段 八名)

398 鮎澤安子

395 池田 忠

391 菊地平三

(初伝 九名)

389 高橋陽泉

385 佐藤節泉

382 野口和泉

(三段 四名)

373 石渡美泉

370 佐藤英泉

(四段 四名)

367 松木宗泉

342 石渡志泉

(中伝 四名)

341 山口重山

334 由谷悦山

406 田中秀喜

403 酒井芳徳

397 鮎澤好夫

394 中村欣司

390 志田晴彦

388 大池信泉

384 星野清泉

380 行谷喜泉

377 吉原益泉

371 須藤月泉

386 山口莉泉

383 野口聖泉

376 後藤和泉

405 斎藤健二

402 今井重夫

396 坂上貞夫

393 種田なおみ

364 山王峽泉

337 齊藤紫山

335 島 光山

357 根岸柚泉

(五段 一名)

377 今井俊山

(六段 三名)

379 元泉誠山

307 大野祥山

304 熱田英山

(奥伝 五名)

295 鈴木豊風

294 福田喜風

293 有友嘉風

291 有馬昌風

288 鈴木聡風

(七段 五名)

263 稲村雄風

262 渡辺英風

261 高橋友風

259 高館恒風

254 渡辺紅風

(八段 二名)

239 渡辺信風

238 小峰美風

9月15日開催の秋季審査会で以上の皆さんが昇段・伝されました。おめでとございます。

### 秋季審査会を終えて

幸和 B 福田喜山

去る9月15日、冷夏を取り戻すかの様な残暑の中、いつもの図書館ホールに於いて、57名の審査が行われました。

日頃の練習成果を精一杯発揮しようとする緊張感一杯でいつもと一味違った雰囲気でした。奥伝は課題吟が4種類と書取りで、今ま

でにないプレッシャーでした。

途中で絶句しない様に、また教室では日頃声が出ないのですが、せめて7本で吟じたいと思っていました。反省点ばかりでしたが、終つてホッと肩の荷が下りました。他の皆さんも声が良く出ていて、今までになく大変良かったとお誉めの言葉を頂きました。折りしも敬老の日と重なり、高齢になつても趣味を持たれ、生き生きとしておられるのを拝見し励まされる思いでした。

いつもご指導下さっている先生方、また当日も早朝よりお手伝い頂いた役員の方々に、心よりお礼申し上げます。

### お知らせ

◎碩心会初吟会

日時・平成16年1月12日(祝・月)10時より

場所・レイ・ウエル鎌倉

会費・3500円

連絡先・企画部

田中岳明 046-873-2576

担当支部・

滝の坂・下山口・唐木山・東伏見・吟甫

お願い・\*車でのご来場は、ご遠慮下さい。

\*出席者は、ネームプレイトを着用

して下さい。

◎第二地区大会(10月5日)に於て次の4名

の方が高齢者表彰を受けました

総伝 杉山岳雪 沼田岳義

皆伝 高橋悦岳

八段 岸本里風

### 「25周年記念真澄支部

### 吟の集い」を終えて

真澄 菊池 祐 岳

去る9月14日レイ・ウエル鎌倉に於て25周年記念真澄支部吟の集いが行われました。碩心会々々長加藤岳洵先生を初め、本部役員、逗子地区支部の先生方のご出席をいただき、いつもの吟の会とは別の緊張を感じながら始まりました。

今回は「李白の詩を勉強してみましようか」との村田岳瀨先生のご提案により、星野輝岳さんが風景詩・懐古の詩・友情の詩・酒の詩に区分し、ナレーションをつけて構成して下さったものに基づいて練習しました。李白の詩は難しいものが多く、吟歴の浅い人達には大変だったようですが皆頑張りました。吟ず

る場所と客席との間隔が近いせいもあってか  
普段のお稽古の時より少々緊張してしまっ  
た人もいたようですが、詩舞も交えて無事終  
了する事が出来ました。懇親会での余興も歌  
あり民謡あり踊りありで賑やかに楽しんで  
いただけようと思います。

村田先生にはいつまでもご健康で私達を  
指導下さいますようお願い申し上げます。

至らない点もあつたかと思いますが、ご出  
席の先生方また支部員の皆様いろいろとご協  
力いただきまして誠にありがとうございました。

## 堀内支部創立40周年記念吟道大会

堀内 F 大 西 雄 風

堀内支部は昭和38年に発足し今年で40周  
年を迎えました。

清々しい秋空に恵まれた9月28日、葉山町  
福祉文化会館大会議室に於て標記記念大会が  
開催されました。

諸行事の多いこの時期でご多忙の中、碩  
心会幹部12名の先生方にご出席と模範吟を頂き  
会場一杯の拍手が続きました。

また、支部会員総勢52名中44名が出席し、  
祝舞・立休吟・独吟と日頃の練習の成果を熱演

・熱吟しました。

加藤岳洵会長、加藤岳相顧問からは堀内支  
部発足当時のこと人間形成のための吟道など  
の貴重なお話しを聞き、堀内支部の伝統を知  
ることが出来ました。

さらに、堀内支部創立当時から在籍されて  
いる会長と中村岳愛・中村岳郵両相談役のご  
三方にその業績を称えて花束の贈呈も行われ  
ました。

有意義な記念大会を滞りなく成功のうちに  
終了できましたこと、ご来賓の先生方並びに  
会員の皆様のご尽力に感謝致します。

## 第27回横須賀第二地区吟道大会

真澄 嶋 津 幸 岳

10月5日、第27回標記大会が葉山町福祉文  
化会館に於て盛大に開催されました。

式典の後、「平成15年度高齢者表彰」では碩  
心会から4名の方々が表彰状と記念品を受け  
られました。午後開始一番の「少年少女吟詠」  
での拍手喝采は印象的でした。これまでの大  
会と趣が変わり、前半は春夏秋冬、後半は雪  
月花で四季と自然をテーマの構成吟スタイル  
でした。情感のこもったナレーションで紹介

された吟は独吟・連吟・合吟で、また詩舞が舞  
台に花を添え誠に見ごたえのあるものでした。  
合吟コンクールでは碩心会は迫力もあり素晴  
らしい出来栄でしたが、残念ながら入賞は  
がしました。プログラムの終盤は諸先生方  
の吟で締められ万歳三唱で滞りなく終了しま  
した。

## 神奈川県本部総伝会に初参加して

逗子 A 田 中 岳 明



去る10月12日、前日までの雨模様が、当日  
は、素晴らしい晴天になり、この大会を祝福  
している様でした。県本部総伝会20周年記念  
親睦吟詠大会が、葉山福祉文化会館に於て、  
開催されました。プログラム通り進められ、  
新総伝者が、紹介されました。

その後、新総伝で独吟、諸先輩方を前に、

緊張は高まり、はたして自分なりの吟が出来るか、とにかく精一杯吟じました。

総伝を頂けるとは、夢のようで、今日まで良き先生、良き先輩の御指導と良き吟友に、恵まれ、そしていつも楽しい雰囲気の教場があつて、此処までこれたのだと思います。

これからも、初心にかえり、勉強してゆきます。皆様の御指導、御鞭撻を宜しくお願い致します。

## 教場訪問

### ◆桜山教場

荒木岳笙 記

桜山教場は、昭和46年、故三井岳隴先生の初めての教室として、初代支部長早瀬さんの



桜山教場の皆さん

◎は担当指導者

石月岳翹

◎鈴木岳抄

(加藤会長)

猪股岳房

荒木岳笙

自宅で、女性10名から始まったと、記憶しています。教場も、なぎさ会館・六代御前社務所・逗子会館と変わりました。会員も20名近くおり教場が、満席に成るほど多勢で、賑やかなこともありましたが、何時の間にか、老齢で退会者が多く現在3名です。三井岳隴先生も高齡の為、転居引退なさつて、平成8年より鈴木岳抄先生に指導者が変わりました。八十路坂世代3名の寂しい教場ですが、皆詩吟が大好きで、ストレス解消と、ボケ防止に、月2回のお稽古日を楽しみに、生涯学習をめざし、和やかに吟を学んでおります。

この日は、総伝会出場吟『金州城下の作』を、鈴木岳抄先生の指導で一節ずつ何回か合吟する。次は各々独吟してこの日の稽古は終わりました。鈴木岳抄先生の迫力ある声を久しぶりに聞いて、大変嬉しく成りました。皆80代の集まりとは、思えない程元気で、背筋が、伸びる思いでした。

### ◆諏訪・吟秀支部

元碩心会会長の加藤岳相先生が指導する教場がこの「諏訪」と「吟秀」です。

歴史は古く、その源流は昭和48年初めの一色支部からB支部としての分離独立に遡ります。



諏訪・吟秀支部の皆さん  
◎は担当指導者

依田清岳

風間房岳

米山廣風

加藤芳岳

大屋正岳

金子輝岳

加藤健岳

市川邦岳

小峰美風

渡橋正岳

(加藤会長)

「諏訪」の名前の由来は葉山の字からで、「吟秀」は岳相先生の名前の一字「秀」から命名したものです。

現在の会員は諏訪が3名、吟秀が坂本と日の出の2教場併せて11名で皆さんキャリア充分の高段者揃いです。

当日は全員坂本教場（横須賀市坂本六丁目町内会館）に集まり、会長を迎えての合同練習となりました。

先ず恒例の「吟道精神」の合吟に始まり、現在の練習吟「静御前」の素読と字句の解説を入れての指導練習を完え、席順に各自の持ち吟の吟詠がありました。皆さん起立して声量朗々と且つ若々しく吟じられたのは誠に立派で感銘を受けました。

会長を囲んでの懇談には用意されたお茶菓子もあり、厳しい中にも和やかな雰囲気醸し出され、大屋正岳支部長の名司会と相まっていろいろなご意見ご希望を伺うことができました。

帰り際に最高齢の会員に、毎週の教場への出席効用をお尋ねしたら『複式呼吸による健康維持と漢詩記憶のポケ防止』とのことでした。

### ◇長柄教場

この日は、『鎌倉懐古』を稽古する。先ず場所の説明、詩の説明、素読、一節ずつ加藤岳相先生に続いて合吟する。朝9時45分から始まったお稽古、朝なのに皆声が出ていて素



長柄教場の皆さん  
◎は担当指導者  
長谷川幹風 中尾松山  
根岸京風 (加藤会長)  
寺村多志 ◎加藤岳相  
笠原岳珠  
石井虹岳 井原松岳

晴らしい。続いて葉山の文化祭に出吟する吟の練習、それぞれ独吟し加藤岳相先生は、細かい注意をして「始めからもう一度」の声、加藤岳相先生は、なかなか厳しい。  
稽古の後、加藤岳相会長は、全国大会のことや、県本部について説明、碩心会についてのお話をされる。

長柄教場の始まりは確かではないが、昭和41年ごろ根岸清風先生により、会員4名。長柄会館に於て、始まる。長柄教場設立当時の方が、皆亡くなってしまった為、確かな事はわからないとの事でした。記憶によると、根岸清風先生が、昭和46年1月に亡くなり、後を根岸岳翠先生が継ぎ、その後竹石岳泓先生・平成11年加藤岳相先生になり今に至ったそうです。毎週水曜日、午前9時45分より、場所、長柄会館。担当師範、加藤岳相先生。新入会員含めて、現在7名。

### ◇蒲田教場

この日は、お口の体操、『吟道訓』の合吟『碩心会の詩』合吟、蒲田教場愛唱吟は、何か『小田原城ゴルフ大会の詩』などから始まる。葉山文化祭の出吟練習に入り、『九月十日』合吟から、『秋日友人に別かる』『不識

庵機山を撃つの図に超す』『勸学』『武野の晴月』『結婚祝いの詩』『述懐』『酒を勧む』『九月十三夜』など行谷隆風先生の指導で、熟語を詰めて読むことや、強い所、止める所、五言の落とし等々、細かい注意がありました。初心者ばかりで、レパートリーが少ないのが悩みだと、行谷隆風先生のお話。

まず教場が、明るく、全員が楽しく詩吟をしている事が、とっともうらやましく、素晴らしいなと思って帰ってきました。

蒲田教場は、JR蒲田駅前で、毎週水曜日夜六時よりお稽古しております。ただ今会員16名。担当師範、行谷隆風先生。  
平成14年2月より4名から始まり、まだ人数が増えそうです。



蒲田教場の皆さん  
◎は担当指導者  
鮎沢安子 ◎行谷隆風  
種田なおみ (加藤会長)  
野口聖泉 野口和泉  
田中秀喜  
簡野高道 志田晴彦 佐藤節泉  
山口莉奈 酒井芳徳 今井重夫  
大塚 洋 鮎沢好夫  
大池信泉

## 皆伝会吟の集い

逗子A 原田義岳



10月13日祝日、皆伝会吟の集いがレイ・ウエル鎌倉3階ホールに於て新皆伝6名を含む73名の会員が出席、定刻十時に矢嶋岳悦先生の開会の言葉が始まり、日

頃の練習の成果を存分に吟じて下さいと励ましの言葉をいただきました。碩心会の詩を宇都宮岳徳先生の先導で会員一同声高らかに吟じプログラムを進めました。

第一部、新皆伝者から独吟が始まり緊張の中51名の吟を聴き午前の部終了しました。

加藤岳洵会長の挨拶の中で、「吟を通じて人生を学び、長年吟道に精進することができたことに感謝しなければならない」また「舞台上で吟することは自信につながるるので、折角の機会を多くもつことが大切」とのお話がありました。

次に松井岳篁先生の挨拶があり会員の詩吟の上達にお誉めの言葉をいただきました。午

後の部が始まりプログラムの進行と共に諸先生方の吟を聴き強く感動し、「吟道精神」を心として一歩でも先生方に近づける様に練習に励みたいと思います。

松井岳篁先生の閉会の言葉があり、その後懇親会に移りました。

千葉岳関先生の力強い乾杯の声で楽しく、なごやかな又、有意義な一日で新皆伝者が精進して吟道を一歩でも前に進められたらと強く感じた一日でした。最後に役員並びに実行委員の皆様のご努力に厚くお礼申し上げます。

### 鎌倉吟舞連盟温習会開催

岩崎 岳 恵



山茶花の紅も美しく晴れ上がった10月26日レイウエル鎌倉に於て、第18回の温習会が開催されました。参加者には早々に集まって頂き定刻の10時に開会しまし

た。

午前中は慎重なあまり無難な吟が多く見受

けられましたが、初吟詠の会員もあり良い経験をされたと思います。昼食の後今回は式典もなくすぐ午後の部に入り、岳風流の他五流派の競演でいよいよ熱が入ってきました。

詩舞の方々にも初めて着付けのまま進行役を受け持つてもらいました。五流派の各詩舞も素晴らしく一段と舞台上に華やかさが加わり、凛とした舞姿は会場の視線を惹きつけました。

吟道館流が当日自流の会と重なり不参加でやや淋しさを感じましたが、全体に聴きごたえのある吟詠が続々出て成功裡に終了することが出来ました。

当会も2年後にはいよいよ二十周年を迎えます。また皆様のお力をお借りしますが宜しくお願いします。

### 第53回逗子市文化祭

#### 詩吟詩舞発表大会にて

逗子B 島 光 山

小雨の煙る文化の日、標記大会が図書館ホールにて開催されました。

11月3日、初めての連絡係に緊張しながら、早めに会場に向いましたが、既に役員の方々がテキパキと準備を始められていて活気が溢





れていました。そんな光景を目の当たりにして、いつも漫然と参加していた自分が申し訳なく、改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。他の支部の方々とも

交流がもて、教室の中の私が、碩心会の一員になれたような気がしました。今回、欠吟が十名。代吟が二名。日頃の成果を発表する数少ない機会なのに……と、とても残念に思いました。

午後は席に着き、凜とした詩舞に魅入られ、高段者の素晴らしい吟詠に感動し、いつか私もそうなりたいたいと思いました。

## 葉山町文化祭「詩吟詩舞発表会」

恒例の葉山町文化祭が11月前半の2週間開催され、碩心会を主体とした「葉山町詩吟詩舞連盟」が今年も11月9日表記発表会を福祉文化会館で盛大に行いました。

この発表会は葉山在住の会員のみの参加で上演時間も十分あり全くリラックスした雰囲気



(滝の坂支部による構成吟)

ました。

中にはテーマに合わせた構成吟を演出した支部教場もあり、開場いっばいの拍手を浴びていました。

詩舞は京愛会と紫紅会が参加され、これまた舞台照明に映える艶やかな舞いを披露されたこの発表会を一段と華やかなものになりました。

## 「枯野の旅」吟行記

東伏見 山本 新風

細い山道は奇麗に雑草が除去され、暫く続いた好天のため乾いた落ち葉が歩く足元でさくさくと気持ちよい音を立てる。眼を凝らすと小さな椽の実が、いがを被った栗の実が朽ち葉の間から顔を出している。上を見れば高く

覆った樹木の間から、爽秋の碧空が覗く。

大正11年10月に歌人若山牧水が上州草津から沢渡温泉へと徒歩で峠超えをしたこの山路の旅愁に憧れて私たちは葉山からバスを仕立ててはるばるやって来た。

この叙情詩「枯野の旅」を吟じ始めたのは一年前、わが教場の師沼田岳義先生がコピーを配布され、少しずつ指導された結果、吟ずるほどにだんだん詩情豊かさに魅き込まれ遂に今年の吟行目的地となった次第。

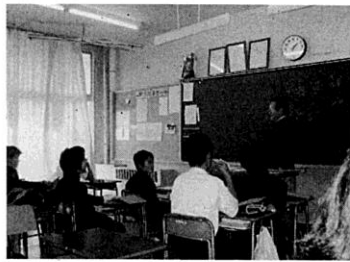
名も寂しいこの暮坂峠は、現在では「ロマンチック街道」と呼ばれる舗装道路の緩やかな明るい美しい車道である。峠の広場の前の山麓にこの詩碑が牧水の旅姿像と一緒に建てられている。この前で全員揃って声を張り上げ高歌放吟しほほ目的を達する。



合吟を終え牧水の詩碑の前で

長がかりしきよ  
うのドライブ、楽  
しかりしきよの  
旅路と合吟しながら  
草津へ下る。  
暮坂峠は間もなく紅葉の季節を迎える。  
(以上)

## 葉山中学「ふれあい講座」を実施



去る10月30日(木)晴天のこの日、葉山中学校の教室に於て、「ふれあい講座」が開催されました。「ふれあい講座」は、昨年に始まり今年で二回目となりました。昨年は講師陣が一方的に漢詩・和歌の吟詠(朗詠)をして終わってしまったので、今年は、皆さんに体験してもらいたいと、加藤岳洵会長の話から始まる。男子17名、女子7名の計24名が、教室に集まり、前回より多いのが嬉しかった。「勸学」の素読、通釈、加藤岳洵先生の講義が始まる。指名され素読するが、声は小さく元気がない。松井岳篁副会長の模範吟の後、一節ずつ合吟、皆覚えが早い。

休憩を挟んで、今回は、ビデオテープを上映する、内容は「常盤孤を抱くの囀」「青葉の笛」「不識庵機山を撃つの囀」題す「桶狭間を過ぐ」皆反応が薄い気がする。

「偶成」の素読、

通釈、立澤岳晴先生の模範吟と、講義。全員で素読、一節ずつ合吟を何回か繰り返す。ビデオの残りを鑑賞する。

時間が来て終わってから、学生に何年生と聞くと、皆1年生ですと答えてくれた。詩吟をどう思うと聞くと、声を出すのは、恥ずかしいと答えた。去年と同じ国語の先生が、担当の先生でした。

### ○入会(10月1日付け)

415 秋吉美代子 葉山町一色 2174

(一色) ☎ 046・875・3357

416 岩田 和義 横須賀市東浦賀町2・18

(吟秀) ☎ 046・841・9478

417 西岡 太郎 葉山町長柄1617・13

(堀内E) ☎ 046・875・6150

再入会 紹介者 西岡清岳

### ○入会(11月1日付け)

418 小林 昭 横須賀市秋谷5237

(堀内B) ☎ 046・857・2764

再入会 紹介者 加藤岳洵

419 寺村 多丞 葉山町長柄693・33

(長柄) ☎ 046・875・8351

再入会 紹介者 中尾松山

### ○退会(10月1日付け)

167 朝比奈泰岳(松和) 205 駒場博風(逗子A)

208 野末雄風(逗子A) 364 山王峽泉(晴誉)

### ○電話番号変更

98 加藤芳岳(吟秀)

☎ 046・872・0502

### ○移籍

338 伊藤泰泉 堀内D支部より一色支部

### ○支部長変更

風早支部 石川岳豊より中村欣司

### ○逗子A支部教場担当師範の交代

千葉岳関先生より内山岳青先生に変わりました。

### 編集後記

カレンダーも残りも少なくなりました。

今年は天候異変の年でしたが、皆様お身体の調子は如何ですか。

長年親しんでまいりました題字ですが、今月からレイアウトを一新致しました。

広報部

15年11月現在	会員数
葉山地区	162名
逗子・大船地区	127名
(合計)	289名